



# 安全データシート

## Campy Cefex Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2025/09/25 改訂日: 2026/05/21 バージョン: 2.0

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Campy Cefex Agar  
製品タイプ : Food Safety -- [Food Safety]  
製品コード : NCM0099  
Part Number(s) : NCM0099|400000804|700003247|700003249

### 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 分析用薬剤、化学研究及び開発

### 会社情報

#### 仕入先

Neogen Corporation  
48912  
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place  
T 800.234.5333  
[sds@neogen.com](mailto:sds@neogen.com) - <https://www.neogen.com/>

#### 輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社  
220-0012  
神奈川県 横浜市西区 みなとみらい 3-3-3 横浜コネクトスクエア  
12階  
T 045-211-4615

### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 24 hours:  
Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international)  
Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない

# 安全データシート

## Campy Cefex Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	区分 4
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分 1B
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

### ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

危険有害性 (GHS JP)

: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)

吸入すると有害 (H332)

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ (H360)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 使用前に取扱説明書を入手すること。 (P201)

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 (P202)

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 (P261)

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 (P271)

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 (P272)

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 (P280)

応急措置

: 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。 (P302+P352)

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

(P304+P340)

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

(P308+P313)

気分が悪いときは医師に連絡すること。 (P312)

特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。 (P321)

皮膚刺激又は発しん (疹) が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

(P333+P313)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 (P362+P364)

保管

: 施錠して保管すること。 (P405)

廃棄

: 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

(P501)

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物

# 安全データシート

## Campy Cefex Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Iron(II) sulfate heptahydrate	≥ 1 - < 5	(1)-359	既存化学物質	7782-63-0
Sodium pyruvate	≥ 1 - < 5	(9)-1079	既存化学物質	113-24-6
Cycloheximide	≥ 0.1 - < 0.5	(4)-295	8-(1)-561,8-(1)-755	66-81-9

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 応急措置 一般

： ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。

#### 吸入した場合

： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。

#### 皮膚に付着した場合

： 皮膚は多量の水で洗浄する。  
汚染された衣類を脱ぐこと。  
皮膚刺激または発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

#### 眼に入った場合

： 予防措置として眼を水ですすぐ。

#### 飲み込んだ場合

： 気分が悪いときは医師に連絡すること。

#### 応急措置をする者の保護

： 応急措置を行う者は、自身の保護に注意を払い、推奨される個人用保護具を使用すること（第 8 項を参照）。

### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

#### 症状/損傷 吸入した場合

： 吸入すると有害。

#### 症状/損傷 皮膚に付着した場合

： アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

#### 症状/損傷 眼に入った場合

： 通常の条件下では特に無し。  
本製品の粉じんは、目の炎症を引き起こす場合がある。

#### 症状/損傷 飲み込んだ場合

： 通常の条件下では特に無し。

#### 慢性症状

： 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

### 医師に対する特別な注意事項

#### その他の医学的アドバイスまたは治療

： 対症的に治療すること。

## 5. 火災時の措置

#### 適切な消火剤

： 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤

#### 使ってはならない消火剤

： 強い水流は使用しない。

#### 火災危険性

： 火災の危険は一切ない。

#### 爆発の危険

： 直接に爆発する危険は全くない。

#### 火災時の危険有害性分解生成物

： 有毒な煙を放出する可能性がある。

#### 消火方法

： 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。  
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。

#### 消火時の保護具

： 適切な保護具を着用して作業する。  
自給式呼吸器。  
完全防護服。

# 安全データシート

## Campy Cefex Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

### 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 : 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。  
物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。

#### 非緊急対応者

保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。

応急処置 : 出勤は、適切な保護装備を身につけた有資格者に限られる。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。

#### 緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。

応急処置 : 不要な職員を退避させる。

#### 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。  
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 清潔なショベルを使用して、ドライコンテナに物質を入れ、圧縮せずに覆い  
ます。

浄化方法 : 製品は機械的に回収する。  
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

技術的対策 : データなし

安全取扱注意事項 : 使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
個人用保護具を着用する。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。  
皮膚、眼との接触を避ける。

接触回避 : データなし

衛生対策 : 作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
製品取扱い後には必ず手を洗う。

#### 保管

安全な保管条件 : 施錠して保管すること。

安全な容器包装材料 : データなし

技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。

容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

保管温度 : 2 - 30 °C

# 安全データシート

## Campy Cefex Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

### 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 作業所の十分な換気を確保する。
<b>保護具</b>	
個人用保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具	: [換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	: 保護用手袋
眼の保護具	: 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視	: 環境への放出を避けること。

### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
外観	: 粉末
色	: ベージュ色
臭い	: 特異臭
pH	: 6.8 - 7.2
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (Vol-%)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

### 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

### 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない

# 安全データシート

## Campy Cefex Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

急性毒性 (吸入) : 区分に該当しない(分類対象外) (気体)  
 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気)  
 吸入すると有害

<b>Campy Cefex Agar</b>	
ATE JP (粉じん、ミスト)	1.98 mg/l/4h
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の 68.28%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の 98.51%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の 97.39%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている
<b>Iron(II) sulfate heptahydrate (7782-63-0)</b>	
急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値として、1,389 mg/kg (EPA Pesticide (1993) )、> 2,000 mg/kg (厚労省既存化学物質毒性データベース (Access on October 2013) ) (OECD TG 401) の報告がある。区分 4 と区分外の該当数が同じであり、ガイダンスに従って区分 4 とした。
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg BW (OECD 401: Acute Oral Toxicity, Rat, Male / female, Read-across, Oral, 14 day(s))
LD50 経口	1389 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg BW (OECD 402: Acute Dermal Toxicity, 24 h, Rat, Male / female, Read-across, Anhydrous form, Dermal, 14 day(s))
LC50 吸入 - ラット	> 1.1 mg/l (EPA OPP 81-3: Acute Inhalation Toxicity, 4 h, Rat, Male / female, Read-across, Anhydrous form, Inhalation)
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	> 1.1 mg/l Source: ECHA
<b>Sodium pyruvate (113-24-6)</b>	
LD50 経口	3533 mg/kg BW (Mouse, Experimental value, Oral)
LD50 経皮 ラット	> 3000 mg/kg BW (Rat, Male, Experimental value, Intraperitoneal)
<b>Cycloheximide (66-81-9)</b>	
急性毒性 (経口)	ラットにおける経口 LD50 = 2 mg/kg (RTECS (2004) , HSDB (2002) ) と 3.7 mg/kg (SITTIG (4th, 2002) ) のうち、毒性の強い値 (LD50 = 2 mg/kg) を採用し区分 1 とした。
急性毒性 (経皮)	データなし。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データなし。
LD50 経口 ラット	2 mg/kg (Rat, Literature study, Oral)
LD50 経口	2 mg/kg

# 安全データシート

## Campy Cefex Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない

Campy Cefex Agar	
pH	6.8 – 7.2
Iron(II) sulfate heptahydrate (7782-63-0)	
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。なお、本物質は、EU DSD 分類において「Xi; R36/38」、EU CLP 分類において「Skin Irrit. 2 H315」に分類されている。
Cycloheximide (66-81-9)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギにおける Standard Draize Test において“Moderate (中程度)”の刺激があること (RTECS (2004) )、ヒトの皮膚を刺激するとの記述がある (ICSC (J) (1997) , HSDB (2002) , SITTIG (4th, 2002) , HSFS (1999) ) ことから、区分 2 とした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない

Campy Cefex Agar	
pH	6.8 – 7.2
Iron(II) sulfate heptahydrate (7782-63-0)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	データ不足のため分類できない。なお、本物質は、EU DSD 分類において「Xi; R36/38」、EU CLP 分類において「Eye Irrit. 2 H319」に分類されている。
Cycloheximide (66-81-9)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	政府による分類では以下の理由により「区分 2A-2B」であるが、NITE において区分 2A とした。ヒトの眼を刺激するとの記述がある (ICSC (J) (1997) , SITTIG (4th, 2002) , HSFS (1999) ) ことから、区分 2A-2B とした。なお、本データからの細区分は困難である。

呼吸器感作性 : 分類できない

Iron(II) sulfate heptahydrate (7782-63-0)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
Cycloheximide (66-81-9)	
呼吸器感作性	データなし。

皮膚感作性 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

Iron(II) sulfate heptahydrate (7782-63-0)	
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
Cycloheximide (66-81-9)	
皮膚感作性	データなし。

生殖細胞変異原性 : 分類できない

Iron(II) sulfate heptahydrate (7782-63-0)	
生殖細胞変異原性	ガイダンスの改訂により「区分外」が選択できなくなったため、「分類できない」とした。すなわち、胃、十二指腸、結腸の in vivo 小核試験で陰性知見 (J. Appl. Toxicol. 8, 179-183, 1988) があり、また、SIDS で鉄塩類 (Iron salts) としてカテゴリー評価され、鉄カテゴリー全体として in vivo 変異原性なしと評価している。in vitro では、細菌の復帰突然変異試験で陰性、哺乳類培養細胞の染色体異常試験で陽性である (厚労省既存化学物質毒性データベース (Access on October 2013) ) 。

# 安全データシート

## Campy Cefex Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Cycloheximide (66-81-9)	
生殖細胞変異原性	マウス骨髄小核試験で陽性 (RTECS (2004) ) から区分 2 とした。なお、in vitro 遺伝毒性試験の Ames 試験では陰性、マウスリンフォーマ試験では陽性と報告されている (RTECS (2004) ) 。
発がん性	: 分類できない
Iron(II) sulfate heptahydrate (7782-63-0)	
発がん性	データ不足のため分類できない。
Cycloheximide (66-81-9)	
発がん性	データなし。
生殖毒性	: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
Iron(II) sulfate heptahydrate (7782-63-0)	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。なお、ラットを用いた経口経路 (強制) での反復投与毒性・生殖毒性併合試験 (OECD TG422) において、生殖能に対する影響は親動物に影響がみられる用量 (1,000 mg/kg/day) においてもみられていない。また、新生児に対する影響もみられていない (厚労省既存化学物質毒性データベース (Access on October 2013) ) 。しかしながら、これはスクリーニング試験であり、また、発生毒性に関する十分な報告がないことから分類できないとした。
Cycloheximide (66-81-9)	
生殖毒性	妊娠ラット/マウスに対し、胚吸収、胎児致死、多肢症等の骨格異常が見られたこと (Catalogue of Teratogenic agent (2004) , RTECS (2004) ) 、EU リスク警句で” R61, カテゴリー2” であること、ならびに California EPA Prop 65 (2006) で developmental と記載されていることから、区分 1B とした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
Iron(II) sulfate heptahydrate (7782-63-0)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。なお、ラットの強制経口投与によりガイダンスの最高用量である 2,000 mg/kg において、自発運動の低下、流涎、一過性の体重低下が認められているが他の毒性症状はみられなかった (厚労省既存化学物質毒性データベース (Access on October 2013) ) との報告があるが、他の経路についての報告はない。
Cycloheximide (66-81-9)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラット、サル、イヌに対する経口投与実験により、唾液分泌過剰や下痢、振戦を伴う一時的な中枢神経の興奮等の症状が見られたとの報告はある (HSDB (2002) ) が、投与量が不明であることなどデータが不足しているため、分類できないとした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない

# 安全データシート

## Campy Cefex Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Iron(II) sulfate heptahydrate (7782-63-0)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	本物質は米国 FDA で食品添加物として GRAS (Generally Recognized As Safe) 物質に認定されている (EPA Pesticide (1993))。また、ラットに強制経口投与した反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験において、区分 2 のガイドランス値範囲を超える用量 (163 mg/kg/day (90 日換算)) で脾臓に髄外造血亢進 (雄のみ) がみられている (厚労省報告: 既存化学毒性データベース (Access on Sep. 2013))。以上より、経口経路では区分外相当であるが、他の経路での毒性情報がなく、データ不足のため分類できない。
Cycloheximide (66-81-9)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし。
誤えん有害性	: 分類できない
Iron(II) sulfate heptahydrate (7782-63-0)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
Sodium pyruvate (113-24-6)	
動粘性率	Not applicable (solid)
Cycloheximide (66-81-9)	
誤えん有害性	データなし。
動粘性率	Not applicable (solid)

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

生態系 - 全般	: 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期 (急性)	: 区分に該当しない
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 区分に該当しない

Iron(II) sulfate heptahydrate (7782-63-0)	
水生環境有害性 短期 (急性)	甲殻類 (オオミジンコ) による 48 時間 EC50 = 91 mg/L (SIDS, 2008) であることから、区分 3 とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性に関する適切なデータが得られておらず、甲殻類 (オオミジンコ) の 21 日間 NOEC = 10 mg/L (SIDS, 2008) であることから、区分外となる。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性に関する適切なデータが得られていないが、魚類 (メダカ) の 96 時間 LC50 > 67 mg/L (SIDS, 2008) であることから、区分外となる。以上の結果から、区分外とした。
LC50 - 魚 [1]	925 mg/l (96 h, Poecilia reticulata, Static system, Literature study)
EC50 - 甲殻類 [1]	152 mg/l (48 h, Daphnia magna, Literature study, Anhydrous form)
NOEC 甲殻類 慢性	10 mg/l
BCF - 魚 [1]	≤ 20 (OECD 305: Bioconcentration: Flow-Through Fish Test, 28 day(s), Cyprinus carpio, Flow-through system, Fresh water, Read-across, Fresh weight)

# 安全データシート

## Campy Cefex Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Iron(II) sulfate heptahydrate (7782-63-0)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-0.37 Source: EPISUITE
Sodium pyruvate (113-24-6)	
LC50 - 魚 [1]	> 100 mg/l (96 h, Pisces, QSAR, Nominal concentration)
EC50 - 甲殻類 [1]	> 100 mg/l (OECD 202: Daphnia sp. Acute Immobilisation Test, 48 h, Daphnia magna, Static system, Fresh water, Experimental value, Nominal concentration)
EC50 72h - 藻類 [1]	2.78 mg/l Test organisms (species): Raphidocelis subcapitata (previous names: Pseudokirchneriella subcapitata, Selenastrum capricornutum)
EC50 96h - 藻類 [1]	94800000 mg/l Source: ECOSAR
ErC50 藻類	> 3 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, 72 h, Pseudokirchneriella subcapitata, Static system, Fresh water, Experimental value, GLP)
NOEC (慢性)	3.95 mg/l Test organisms (species): Duration: '28 d'
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-3.8 (Practical experience/observation, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 20 ° C)
Cycloheximide (66-81-9)	
水生環境有害性 短期 (急性)	信頼性のある急性毒性データが得られていない。
水生環境有害性 長期 (慢性)	データなし
LC50 - 魚 [1]	1.6 mg/l (48 h, Oryzias latipes, Literature study)
EC50 72h - 藻類 [1]	2.215 mg/l
BCF - 他の水生生物 [1]	3.2 l/kg (BCFBAF v3.01, Estimated value, Fresh weight)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.55 (Experimental value)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

### 残留性・分解性

Campy Cefex Agar	
残留性・分解性	急速分解性でない
Iron(II) sulfate heptahydrate (7782-63-0)	
残留性・分解性	Biodegradability in soil: no data available, Readily biodegradable in water。
化学的酸素要求量(COD)	Not applicable (inorganic)
ThOD	Not applicable (inorganic)
Sodium pyruvate (113-24-6)	
残留性・分解性	Readily biodegradable in water。
Cycloheximide (66-81-9)	
残留性・分解性	Not readily biodegradable in water。

### 生体蓄積性

Campy Cefex Agar	
生体蓄積性	データなし

# 安全データシート

## Campy Cefex Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Iron(II) sulfate heptahydrate (7782-63-0)	
生体蓄積性	Low potential for bioaccumulation (BCF < 500)。
BCF - 魚 [1]	≤ 20 (OECD 305: Bioconcentration: Flow-Through Fish Test, 28 day(s), Cyprinus carpio, Flow-through system, Fresh water, Read-across, Fresh weight)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-0.37 Source: EPISUITE
Sodium pyruvate (113-24-6)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-3.8 (Practical experience/observation, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 20 ° C)
Cycloheximide (66-81-9)	
生体蓄積性	Low potential for bioaccumulation (Log Kow < 4)。
BCF - 他の水生生物 [1]	3.2 l/kg (BCFBAF v3.01, Estimated value, Fresh weight)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.55 (Experimental value)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

### 土壌中の移動性

Campy Cefex Agar	
土壌中の移動性	データなし
Iron(II) sulfate heptahydrate (7782-63-0)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-0.37 Source: EPISUITE
生態系 - 土壌	Adsorbs into the soil。
Sodium pyruvate (113-24-6)	
表面張力	No data available in the literature
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-3.8 (Practical experience/observation, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 20 ° C)
生態系 - 土壌	No (test)data on mobility of the substance available。
Cycloheximide (66-81-9)	
表面張力	No data available in the literature
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.55 (Experimental value)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)
生態系 - 土壌	Highly mobile in soil。

### オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

## 13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 固体廃棄物については適用法令を遵守する。  
管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

# 安全データシート

## Campy Cefex Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
残余廃棄物	: 本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。 廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

UN RTDG に準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	
輸送規則の定義上危険物に該当しない。	
国連正式品名	規制されていない
輸送危険物分類	規制されていない
容器等級	規制されていない
環境有害性	規制されていない

### MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

### 国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

## 15. 適用法令

### 国内法令

労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 2 号～第 3 号、安衛則第 30 条別表第 2） 【改正後 令和 8 年 4 月 1 日以降】 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 2 号～第 3 号、安衛則第 30 条別表第 2） 【改正後 令和 9 年 4 月 1 日以降】 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 2 号～第 3 号、安衛則第 30 条別表第 2） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 3 号別表第 9）
---------	--

# 安全データシート

## Campy Cefex Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

【改正後 令和8年4月1日以降】

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第3号別表第9）

【改正後 令和9年4月1日以降】

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第3号別表第9）

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号、第3号別表第9）

鉄水溶性塩（別表の番号：20）

【改正後 令和8年4月1日以降】

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号、第3号別表第9）

【改正後 令和9年4月1日以降】

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号、第3号別表第9）

鉄水溶性塩（別表の番号：20）

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）

シクロヘキシミド（別表の番号：751）

【改正後 令和8年4月1日以降】

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）

【改正後 令和9年4月1日以降】

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）

シクロヘキシミド（別表の番号：751）

毒物及び劇物取締法

：劇物（指定令第2条）

シクロヘキシミドを含有する製剤

水質汚濁防止法

：指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の3）

海洋汚染防止法

：有害でない物質（施行令別表第1の2）

有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1）

有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1）

有害液体物質（Z類同等の物質）（環境省告示第148号第3号）

道路法

：車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）

水道法

：有害物質（法第4条第2項）、水質基準（平15省令101号）

下水道法

：水質基準物質（法第12条の2第2項、施行令第9条の4）

## 16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。